

対外・対内証券投資の動向(2018年10月分)

対外・対内ネットでは資金流入超に

- 財務省の「対外及び対内証券売買契約等の状況(指定報告機関ベース)」によると、10月の対外証券投資は+1,871億円(前月は+5兆3,627億円)と5か月連続で取得超となった。他方、対内証券投資は+2,784億円(前月は▲2兆150億円の処分超)の取得超に転じた。この結果、対外・対内ネット合計では+912億円(前月は▲7兆+3,777億円と大幅な資金流出超)の資金流入となった。
- 10月の対外証券投資は、株式・投資ファンド持分は買い越し額が前月の+1兆108億円から+8,256億円に縮小した。中長期債は前月の+4兆5,188億円の買い越しから▲7,053億円の売り越しに転じた。一方、短期債は前月の▲1,668億円の売り越しから+669億円の買い越しに転じた。
- 投資家部門別では、預金取扱機関が▲1兆433億円の売り越し(前月は+3兆7,424億円の買い越し)に転じ、生命保険会社も▲1,769億円の売り越し(前月は+6,101億円の買い越し)に転じた。一方、金融商品取引業者は買い越し額が前月の+9,658億円から+1兆638億円に拡大した。投資信託委託会社等は買い越し額が前月の+5,906億円から+6,891億円へ拡大し、銀行等及び信託銀行(信託勘定)も買い越し額が前月の+1,045億円から+2,473億円に拡大した。
- 10月の対内証券投資は、株式・投資ファンド持分は前月の▲2兆2,356億円の売り越しから+1兆5,659億円の買い越しに転じ、中長期債も前月の▲1兆8,909億円の売り越しから+7,023億円の買い越しに転じた。一方、短期債は前月の+2兆1,115億円の買い越しから▲1兆9,898億円の売り越しに転じた。

国際為替部

チーフマーケット・エコノミスト

唐鎌 大輔

03-3242-7065

daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

マーケット・エコノミスト

堀内 隆文

03-3242-7065

takafumi.horiuchi@mizuho-bk.co.jp

マーケット・エコノミスト

多田出 健太

03-3242-7065

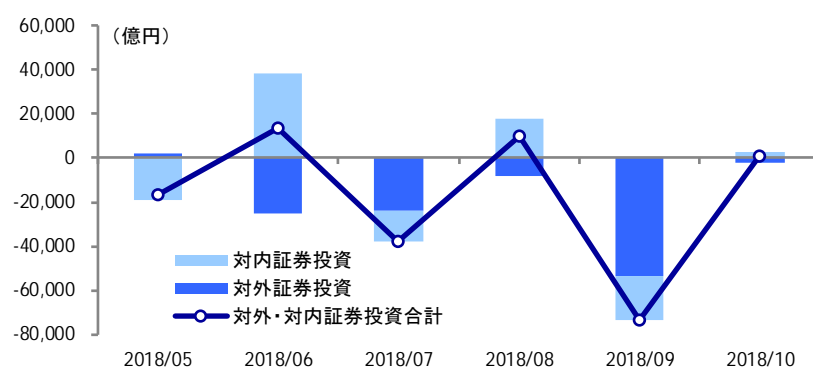
kenta.tadaide@mizuho-bk.co.jp

浅野 江梨子

03-3242-7065

eriko.b.asano@mizuho-bk.co.jp

図表 1: 対外・対内証券投資の動向



(注)ここでは、プラスは資金流入超、マイナスは資金流出超を示す。

(資料)財務省、INDB、みずほ銀行

(※図表の計数は詳細項目から合算しており、公表値と僅かに一致しない場合がある。以下同。)

お客さま各位

ここではレポートの一部をご紹介します。
しています。

レポート全ページをご希望の方は、
お取引いただいているみずほ銀行の
お取扱店、またはお取引担当部まで
お問い合わせください。

以上